

ふるさと教育 取組事例

学校名	川本町立川本小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4～6年	クラブ活動	江川太鼓に親しもう	江川太鼓同好会のみなさん
ねらい		地域の伝統芸能を体験することにより、その良さに気づく。	
<p>1 取組の概要</p> <p>昭和47年に発生した集中豪雨により江の川は大洪水となり、川本町は再起不能と言われるほどの水害を受けた。川本町全体が暗く沈んでいる中、町の若者が町民の元気を取り戻そうと話し合いをし、太鼓の勇敢な響きに川本町の復興を託して結成されたのが「江川太鼓」であり、川本町を代表する伝統芸能である。</p> <p>川本小学校では、クラブ活動の一環として江川太鼓に取り組んでいる。年間8回（1回につき1時間）悠邑ふるさと会館の大ホールまたはマルチホール（今年度は中学校の文化祭の関係で1回のみ中学校の音楽室）で、江川太鼓同好会のみなさんの指導を受け練習をした。2月に本校体育館で全校児童、教職員に向けて成果を発表した。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から） 川本町の伝統芸能である江川太鼓について詳しく知り、練習をすることで、ふるさとに愛着や誇りを持ち、伝統を引き継いでいく意欲を持てるようにしたいと考えた。</p> <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から） 限られた時間の中で集中して練習を行うことで、学習意欲を高め主体的に取り組めるようにと考えた。また、練習の成果を全校児童、教職員に見てもらう活動を通して、相手意識をもって表現する力を養いたいと考えた。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）</p> <p style="padding-left: 20px;">（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から） 初めに、江川太鼓ができた経緯の話を聞いたことで、川本町への誇りをもち、伝統を大切にする気持ちを持つことができた。</p> <p style="padding-left: 20px;">（学力育成の視点から） 発表会で人に見てもらうことを最終目標にし、熱心に練習に取り組んだ。11月には希望者が産業祭にも出演した。ほどよい緊張感の中、人の前で表現する楽しさ、達成感を味わった。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>伝統芸能クラブ希望の児童が年々減少傾向にある。江川太鼓の魅力をさらに広め、クラブを継続できるようにしていきたい。</p>			

